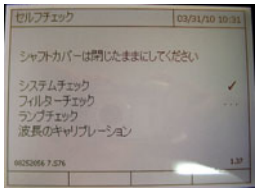
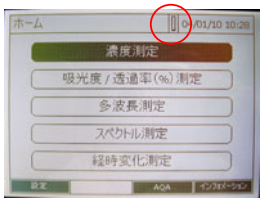
多項目水質測定器photoLab6100/6600　使用手順書

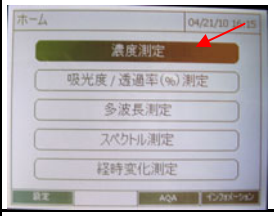
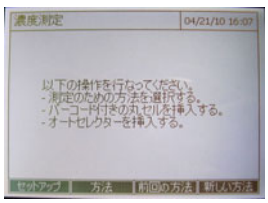
この簡易手順書はすぐに機器の取扱ができることを目的に作成しているため簡単な説明になっています。取扱の詳細につきましては、付属の正式な取扱説明書を参照くださるようお願い致します。

● 測定の手順

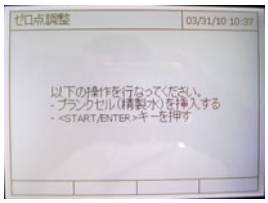
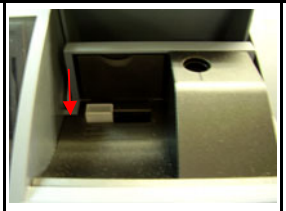
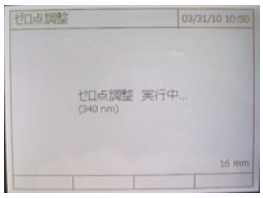
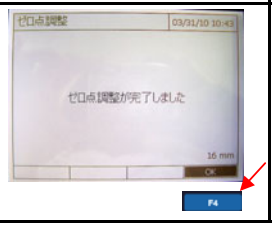
①電源を入れる

①－1		キーを押し、photoLab6100/6600の電源を入れます。
①－2		セルシャフトにセルが無いことを確認し、両方のふたを閉めます。
①－3		START・ENTER キーを押します。
①－4		セルフチェックを実行します。
①－5		ホーム画面が表示されます。 電源を入れた後、15分間の暖気運転が必要です。 暖機運転中には画面右上にプログレスバーが表示され、終了すると消えます。

②測定モードの選択

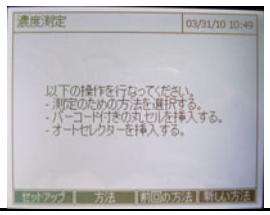
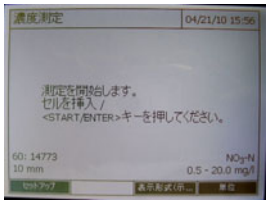
②－1		▲/▼キーで「濃度測定」を選択し、START・ENTER キーを押します。
②－2		濃度測定画面が表示されます。

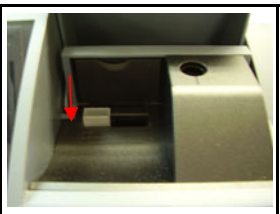
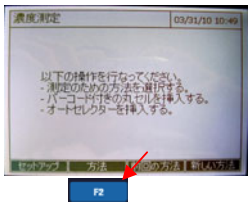
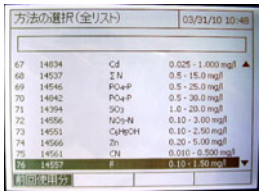
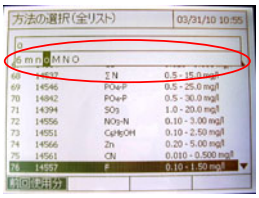
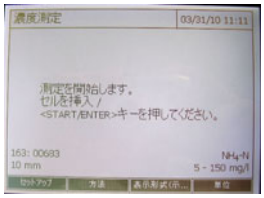
③ゼロ点調整

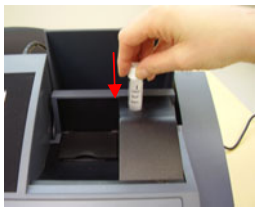
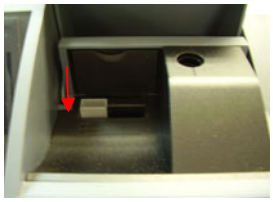
③－1		ZERO・BLANK キーを押します。
③－2		測定項目に応じて、付属のNull Zeroセル（16mm）、または蒸留水を入れた角セル（10mm、20mm、50mm）を用意します。
③－3		**〈 測定で16mmセル使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを閉めます。 NullZeroセルの目印とセルシャフト前面の刻み目を合わせてセルシャフトの奥まで挿入し、ふたを閉めます。
③－3		**〈 測定で角セル(10mm、20mm、50mm)使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを開きます。 セルの不透明側を前後に向けてセルシャフトの左側に寄せ挿入し、ふたを閉めます。
③－4		自動的にゼロ点調整が開始されます。
③－5		続いて自己校正（Auto Check）を行います。 ゼロセルをセルシャフトから取り出すと、自動的に自己校正（Auto Check）が開始されます。
③－6		ゼロ点調整が完了したら、 F4 （OK）キーを押します。

④測定プログラムの選択　～　サンプル測定

試薬BLANKを入力する場合は測定プログラムを選択した後に手順⑤(P6)を行って下さい。

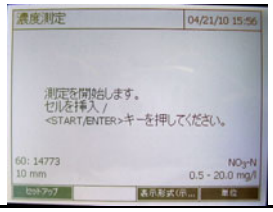
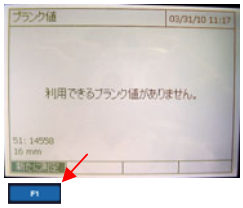
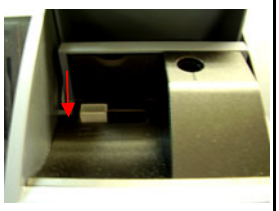
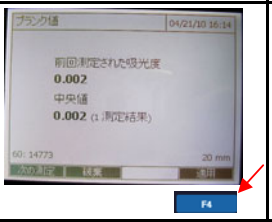
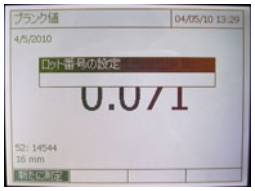
④－1		測定プログラムを選択します。 「バーコード付き試薬セルの場合」・・・・④－2 「オートセレクター付き試薬の場合」・・・④－3 「手動で選択する場合」・・・・・・・・・・④－4
④－2 バーコード付き試薬セルの場合		
-1		サンプルを分析説明書に従って反応させます（サンプルセル）。
-2		サンプルセルの目印とセルシャフト前面の刻み目を合わせてセルシャフトの奥まで挿入し、ふたを閉めます。
-3		測定プログラムを自動的に選択して測定を開始します。 測定値が表示されます。 画面中央：測定値 画面左下：プログラム番号、試薬番号、セルタイプが表示 画面右下：測定項目、測定範囲が表示
④－3 オートセレクター付き試薬の場合		
-1		サンプルを分析説明書に従って反応させます（サンプルセル）。 試薬セットからオートセレクターを取り出します。
-2		オートセレクターの目印とセルシャフトの前面の刻み目を合わせ、セルシャフトの奥まで挿入します。
-3		自動的に測定プログラムが選択されます。 画面左下：プログラム番号、試薬番号、セルタイプが表示 画面右下：測定項目、測定範囲が表示

-4		サンプルセルの不透明側を前後に向けてセルシャフトの左側に寄せて挿入し、ふたを閉めます。
-5		自動的に測定が開始され、測定値が表示されます。
④−4 手動で選択する場合		
-1		サンプルを分析説明書に従って反応させます（サンプルセル）。 F2 （方法）キーを押します。
-2		「方法の選択（全リスト）」画面が表示されます 。
-3		英数字キーで検索する文字（プログラム番号（分析手順書を参照して下さい）、試薬ナンバー、測定項目名）を入力します。
-4		英数字キーを押すと、そのキーで入力できる文字が表示されます。 キーを数回押し文字を選択します。 選択後１秒程度おくとその文字が入力されます。
-5		入力した文字に対し絞り込み検索がかかります。 リストアップされたプログラムの中から▲/▼キーで使用するプログラムを選択し、 START・ENTER ーを押します。
-6		使用する測定プログラムが表示されます。 画面左下：プログラム番号、試薬番号、セルタイプが表示 画面右下：測定項目、測定範囲が表示

-7		**〈 測定で16mmセル使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを閉めます。 反応セルの目印とセルシャフト前面の刻み目を合わせてセルシャフトの奥まで挿入し、ふたを閉めます。
-7		**〈 測定で角セル(10mm、20mm、50mm）使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを開きます。 セルの不透明側を前後に向けてセルシャフトの左側に寄せ挿入し、ふたを閉めます。
-8		自動的に測定が開始され、測定値が表示されます。

⑤試薬ブランク(blank value)測定

分析説明書に試薬ブランク値の入力が必要と記載されている場合や、より正確に測定を行いたい場合には試薬ブランク測定を行います。
使用する試薬のロット毎にブランク値を入力することをお勧め致します。

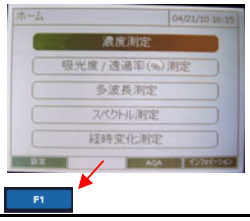
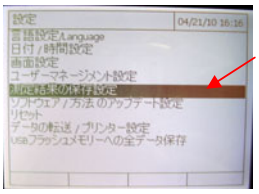
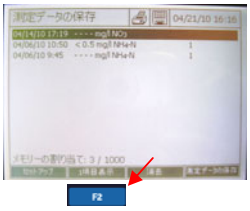
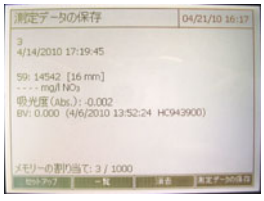
⑤－1		試薬ブランクセル（サンプルの代わりに蒸留水を測定手順に従って反応させたセル）を用意します。
⑤－2		ZERO・BLANK キーを押します。
⑤－3		▲/▼キーで「ブランク値」を選択し、 START・ENTER キーを押します。
⑤－4		F1（新たに測定）キーを押します。
⑤－5		**〈 16mmセル使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを閉めます。 NullZeroセルの目印とセルシャフト前面の刻み目を合わせ、セルシャフトの奥まで挿入し、ふたを閉めます。 START・ENTER キーを押します。
⑤－6		**〈 角セル（10mm、20mm、50mm）使用する場合 〉** 内側の跳ね上げふたを開きます。 セルの不透明側を前後に向けてセルシャフトの左側に寄せ挿入し、ふたを閉めます。 START・ENTER キーを押します。
⑤－7		測定値（吸光度）が表示されます。 F4（適用）キーを押します。
⑤－8		英数字キーで試薬Lot番号を入力し、 START・ENTER キーを押します。 ※試薬ブランク値が入力されている場合、測定画面右上に［BV/入力したLot番号］と表示されます。

● データの保存

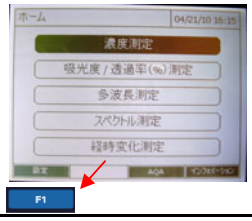
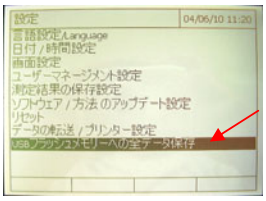
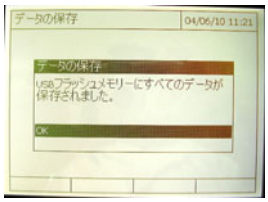
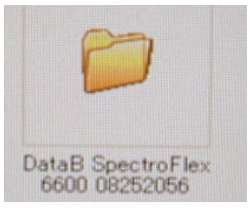
⑥測定結果の保存

⑥－1		結果が表示されたら、STOREキーを押します。
⑥－2		測定データのID番号を英数字キーで入力し、 START・ENTER キーを押します。

⑦保存したデータを表示する

⑦－1		HOME キーを押し、ホーム画面を表示します。 F1（設定）キーを押します。
⑦－2		▲/▼キーで「測定結果の保存設定」を選択し、 START・ENTER キーを押します。
⑦－3		保存したデータが一覧で表示されます。
⑦－4		１項目の詳細データを表示する場合は、▲/▼キーで表示させるデータを選択し、 F2 項目表示）キーを押します。
⑦－5		データの詳細が表示されます。

⑧保存したデータをPCに送る

⑧－1		機器裏側のUSB-Aコネクタに USBメモリを差し込みます。
⑧－2		HOME キーを押しホーム画面を表示します。 F1 （設定）キーF1を押します。
⑧－3		▲/▼キーを押し、「USBフラッシュメモリーへの全データ保存」を選択し、 START・ENTER キーを押します。
⑧－4		USBメモリへデータが送信されます。 START・ENTER （OK）キーを押します。
⑧－5		USBメモリをPCに接続します。 保存したデータは、「DataB photoLab6100/6600 製造番号」フォルダ中にcsv形式で保存されます。

セントラル科学株式会社

20100512